

# 日本共産党議員団ニュース

【No. 552号】日本共産党伊勢原市会議員団 2019年10月31日  
宮脇俊彦 94-7584 Email:jcp.isehara.miyawaki@gmail.com  
川添康大 45-0596 Email:yasuhiro.k120@gmail.com  
事務所 TEL・FAX : 93-1169  
HP : <http://isehara.kir.jp/kyou01.html>

## 公共施設有料化は 本当に施設維持に必要？

9月議会で宮脇俊彦議員は、今年7月より実施された公共施設有料化について、「有料化が施設維持に役立つか」という視点で7・8月の利用実績をもとに質問しました。その内容を報告します。

**質問**・・伊勢原市は、長年、市民の活動を支援する立場で公共施設を無料で提供し、市民が行なうさまざまな取り組み、活動、学習、話し合い、スポーツなどを支援してきました。こうしたこともあり伊勢原市の活発な市民活動は地区ごとの運動会、公民館まつりの開催、高い自治会の加入率に示され

ています。これは伊勢原市が誇れることの一つだと認識してきました。しかし、市はこうした活動をささえてきた「公共施設使用料の無料方針」を転換し、昨年9月議会に公共施



設の有料化を提案し、議決されてしまいした。

そして、今年7月1日より公共施設有料化が施行されたのです。7・8月2ヶ月の実績がすでに明らかになっています。有料化の推移はどうなっていますか。



**回答**・・前年比では利用人数で4%の減、利用件数で3%の減です。現時点では、有料化の影響を評価するのは難しい。

## 利用料収入の推移は 年間300万円減になるのでは

**質問**・・料金収入について伺います。今年の3月時点の年間収入見込み額は、コミュニティーセンターが年間250万円に対し、7・8月の2カ月の収入は15万円、年間に直すと約90万円、当初の年間予算との差は160万円減となります。公民館は今年の3月時点の年間収入見込み額が838万円。7・8月の2カ月の収入は133万円、年間に直すと約798万円、その差40万円減となります。どうしてこの差が発生したと考えますか。

**回答**・・減免申請が予想より多かった。

**質問**・・同様に見ると、小中学校の運動施設は年間に43万円減。以下同じように弓道場33万円減、総合運動公園トレーニング室24万円減、総合運動公園自由広場21万円減など、全部合わせると約300万円も当初の収入見込み額より少なくなります。



1700万円の当初の収入見込額が1400万円になる可能性があるのではないかとおもいます。

**回答**・・まだ有料化は始まったばかりで、判断できない。大きな変化はないと考える。

**コメント**・・7・8月の利用者・利用料収入の推移を見ても、その要因である「減免」の多さを考慮しても、利用料収入は大きく減少することは明らかではないでしょうか。10月から消費税の増税も始まりました。さらに、利用低下が懸念されます。



## 公共施設有料化は施設維持のため?

**質問**・・公共の施設維持・管理のため公共施設の有料化が必要と言ってきました。しかし、年間1400万円程度の収入で経費が1120万円かかり（2019年3月議会答弁より）、収入から経費を引くと280万円しか残りません。これで公共の施設維持・管理につながるのか見解を伺います。

**回答**・・公共施設有料化は維持管理施策の一部だ。

**質問**・・この間「公共施設維持に年間22億必要、現状では年間7億しか維持管理に使われてない、今のままで年間15億円が不足する。」と言ってきました。根本的解決策はに公共施設やインフラ（道路、橋梁、上下水道）などの長寿命化が必要です。しかし、公共施設の有料化が昨年9月に決まり



1年が経過しますが、公共施設維持についてどう考えているのか。

**回答**・・（市の明確な回答なし）

**コメント**・・市は「公共施設白書」を手始め

に「公共施設管理計画」を作り、公共施設の有料化を進めました。しかし、市民の反対運動の広がりもあり、1時間100円を基本とする価格設定をせざるをえませんでした。また、減免措置も市民の声で導入することになり、収入予定額も当初予定より低いものになりました。これが現在の状況です。今後利用数の低下となれば収入が経費を下回ることもあります。

## 公共施設が役割發揮できるよう検証しよう

これからも、公共施設が市民の活動を支え、伊勢原市の市民活動が広がり、健康づくりにも大きく貢献できるよにしていこうではありませんか。公共施設有料化はそうした市民の願いとは逆行するのではないかでしょうか。国いいなりの施策（公共施設の有料化や施設の縮減）を進めるのではなく、市民とともに考え、知恵を出し合い、施設の長寿命化をはかり、有効に活用することこそ必要ではないでしょうか。引き続き有料化の検証に取り組みます。

## 伊勢原でも台風被害発生

9月の台風15号に続いて10月12日には台風19号が大きな被害をもたらしました。被害を受けた皆さんには心よりお見舞い申し上げます。伊勢原市も大きな被害を受けました。

住宅の屋根やビニールハウスの被害が発生しました。また、道路の被害も発生しています。私達も日頃からしっかり備えをすることと、政治が気候変動に早急に対応し、防災対策を行うことが必要だと痛感します。歌川・渋田川の洪水防止策を早急に。（宮脇俊彦）

